

# 令和4年度 政策（政策の柱）評価調査

|             |       |               |              |           |      |
|-------------|-------|---------------|--------------|-----------|------|
| 分野<br>(大項目) | 経済・産業 | 政策の柱<br>(中項目) | 農林水産業の持続的な成長 | 政策<br>コード | 2(1) |
| 関係部局        | 農政部   | 水産林務部         |              |           |      |

## 【政策の概要】

### ■潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり 【2(1)A】

○ 我が国の食料自給率の向上と「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献するとともに、収益性の高い農業経営の確立に向け、多様な農業経営体がその力をフル発揮できるよう、生産基盤の整備をはじめ、スマート農業の加速化を図る技術、家畜排せつ物由来のメタンの活用技術、飼料などによるメタン排出の削減技術などの開発・普及を促進します。

また、消費者の期待と信頼に応える安全・安心な食料の安定生産や、クリーン農業・有機農業などの環境保全型農業の取組を推進します。

○ 農外からの新規就農者や農業後継者の育成・確保、農業法人の育成や家族経営体を支える営農支援組織の育成・強化、女性農業者等が活躍できる環境づくりなど地域農業を担う農業経営体の体質強化を推進します。

○ 農業・農村の所得の確保や雇用の安定を図るため、需要に応じた農畜産物の生産拡大と薬用作物等の地域で取り組む新規作物など新たな需要の創出とともに、環境保全型農業や地域資源を活かした6次産業化、ブランド力の強化、農畜産物や食品の輸出促進に向けた環境整備など、国内外の需要を取り込む農業の高付加価値化に取り組めます。

○ 地域農業者をはじめとしたコミュニティ活動の推進や移住・定住、地域資源を活かした都市・農村交流、家畜排せつ物をはじめとしたバイオマスのエネルギー利用を促進するとともに、農業・農村の持つ多面的機能の発揮を促進することにより、活力に満ち、だれもが心豊かに暮らしていける農村づくりに取り組めます。

### ■水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり 【2(1)B】

○ 水産資源の回復・増大や水域環境の保全を図るため、適切な資源管理や新たな魚種の増養殖など、海域の特性に応じた栽培漁業を推進するとともに、密漁取締体制の強化やトドなどの海獣による漁業被害対策を進めます。

また、日本海地域において、増養殖を柱とした新たな生産体制づくりを進めます。

○ 安全・安心な水産物を安定的に供給し、水産物の競争力の強化やさらなる輸出拡大を図るため、衛生管理型漁港施設などの整備を進めるとともに、北海道産水産物の消費拡大やHACCP導入促進などに取り組めます。

○ 漁業担い手を育成・確保するため、漁業後継者などに対する漁業研修の充実や新規漁業就業者の確保を促進するとともに、漁業経営の体質強化を進めます。

○ 快適で活力ある漁村づくりを進めるため、防災機能の強化など安全な漁港づくりや生活環境基盤などの整備を推進します。

○ ロシア・北方四島周辺水域における操業機会の安定的な確保を図ります。

○ ICT等を活用し、コンブなどの漁場の効果的管理や生産過程の自動化を促進します。

### ■林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり 【2(1)C】

○ 地域の特性に応じた森林づくりを進めるため、地球温暖化の防止や国土の保全、生物多様性の保全、木材生産など、期待される機能に応じて森林を区分し、それぞれの機能発揮に向け、クリーンラーチをはじめとする優良種苗の生産や植林、間伐といった森林の整備・保全に取り組めます。

○ 林業及び木材産業の健全な発展を図るため、効率的な森林施業による原木の安定供給や木材の加工・流通体制の整備を推進します。また、公共建築物などの木造化・木質化を促進するとともに、CLTの実用化などによる新たな需要の創出や木質バイオマスのエネルギー利用の拡大に取り組めます。

○ 若年者の林業への新規参入など、森林づくりを担う人材の育成・確保や安全で適切な施業を担う林業事業体の育成に取り組めます。

○ 森林づくりや木材利用に対する道民の理解及び参加・協力を進めるため、森林や木材とふれあう機会の充実や、道民や企業による自発的な森林づくり活動の促進などに取り組めます。

○ 森林の管理や造林・保育、伐採から利用までの各段階でICT等を活用した北海道らしい「林業イノベーション」を推進します。

## 【社会経済情勢（現状・課題）】

・持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、環境に配慮した農業生産が求められている。また、農業経営をとりまく環境が厳しさを増す中、農業・農村の所得の確保や雇用の安定に向けて、6次産業化などの地域の食資源の活用、**農林水産物・加工食品の販路拡大**への関心が高まっている。

・本道が我が国固有数の食料供給地域として果たす役割はより重要なものとなっているが、**農家戸数の減少**や国際化の進展などに加え、**新型コロナウイルス感染症の影響による需要減や国際情勢の影響による肥料・飼料価格の高騰**など**農業経営の環境は厳しい**ことから、農業の安定生産や生産性の向上などの取組が必要。

・**農家戸数の減少や高齢化の進行**、農村コミュニティ機能の低下、経済のグローバル化の進展など、本道の農業・農村を取り巻く情勢が大きく変化している中、**我が国最大の食料供給地域である北海道の役割を果たす**ため、農業農村整備を計画的・効果的に推進することが重要である。

・**農家戸数の減少や農業従事者の高齢化が進行**する中、本道農業・農村の持続的発展のため、**意欲と能力のある多様な担い手を育成・確保**していくことが必要。また、**農業経営の総合的な体質強化**を図るため、担い手への農地の集積・集約、**産地の競争力強化、法人の育成、雇用労働力の確保**等が必要。

・農村地域では人口減少や高齢化の急激な進行により地域の活力低下が懸念され、定住条件改善の取組や、所得の向上、都市との交流など関係人口の拡大などが求められている。また、本道農業・農村を将来に引き継いでいくためには、農業・農村に対する道民の理解の促進が不可欠である。

・漁獲から流通・加工の各過程における衛生面や鮮度管理の高度化など、安全かつ良質な製品の安定供給並びに国内外への積極的な情報の発信などに取り組む必要がある。

・本道水産業は、**主要魚種の生産低迷や社会経済情勢の変化、漁業就業者の減少等による生産体制の脆弱化**など**厳しい状況**にあることから、**水産業の体質強化**と漁村の活力向上に向けて、海洋環境等の変化も注視しながら、水産資源の適切な管理や栽培漁業の推進、漁業経営の安定化等に係る取組を進める必要がある。

・**海獣類による深刻な漁業被害が発生**しており、被害防止対策を総合的に推進する必要がある。

・**漁業就業者の減少・高齢化**によって、水産物の安定供給や漁村地域の活力低下が懸念されていることから、**新規漁業就業者を育成・確保**する取組を一層推進するとともに、市町村や漁協、関係団体等と連携し、**新規漁業就業者の受入体制の構築**を進める必要がある。

・森林資源の循環利用を着実に進め、**林業・木材産業が成長産業として健全に発展**していくため、**道産木材の需要創出・拡大のための競争力の強化**や山村地域の活性化を図るとともに、木育の取組を通じ、道民・企業などの多様な主体との協働による森林づくりを推進する必要がある。

・人工林資源が利用期を迎え、今後、伐採や植林などの事業量の増加が見込まれる中、これらの**作業を行う人材や事業体の役割はますます重要**となっている。

・林業・木材産業の競争力強化に向け、**林業労働力を安定的に確保**する必要がある。

|             |       |               |              |           |      |
|-------------|-------|---------------|--------------|-----------|------|
| 分野<br>(大項目) | 経済・産業 | 政策の柱<br>(中項目) | 農林水産業の持続的な成長 | 政策<br>コード | 2(1) |
| 関係部局        | 農政部   |               | 水産林務部        |           |      |

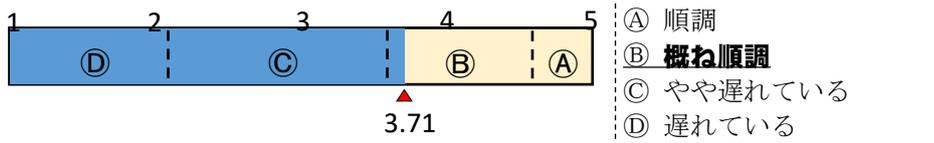
【政策を構成する施策の評価結果】

| 小項目名                                | 施策コード | 施策名                         | 総合判定    |
|-------------------------------------|-------|-----------------------------|---------|
| A 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり     | 0605  | 高付加価値農業の推進                  | やや遅れている |
|                                     | 0606  | 農業生産の振興                     | 順調      |
|                                     | 0607  | 農業農村整備の推進                   | 順調      |
|                                     | 0608  | 農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体質強化  | 概ね順調    |
|                                     | 0609  | 農村活性化対策の推進                  | 概ね順調    |
| B 水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり | 0705  | 道産水産物の安全な流通体制の確保            | 遅れている   |
|                                     | 0706  | 栽培漁業の推進や経営の安定化等による水産業の振興    | 概ね順調    |
|                                     | 0707  | 海獣等による漁業被害対策の推進             | 遅れている   |
|                                     | 0708  | 水産業の担い手対策の推進                | 遅れている   |
| C 林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり    | 0709  | 森林資源の循環利用の推進による林業及び木材産業等の振興 | 概ね順調    |
|                                     | 0710  | 林業の担い手対策の推進                 | 概ね順調    |

【成果指標の達成状況】

| 施策コード          | 指標名                          | 過年度①               | 過年度②               | 評価年度               | 評価年度目標値            | 達成率    |
|----------------|------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 0605           | 6次産業化の取組(年間販売金額)             | 2,189億円            | 2,157億円            | 2,078億円            | 2,287億円            | 90.9%  |
|                | 道産食品輸出額(暦年)                  | 1,182億円            | 1,043億円            | 927億円              | 1,500億円            | 61.8%  |
| 0606 0607      | 食料自給率(カロリーベース)               | 206%               | 196%               | 216%               | 202%               | 106.9% |
| 0606           | 地籍調査進捗率                      | 62%                | 62%                | 62%                | 65%                | 95.4%  |
|                | 競馬事業の収支                      | 15.1億円             | 31.1億円             | 35.9億円             | 0円<                | 100.0% |
| 0607           | 農業産出額                        | 12,593億円           | 12,558億円           | 12,667億円           | 11,675億円           | 108.5% |
| 0608           | 新規就農者数                       | 529人               | 454人               | 474人               | 670人               | 70.7%  |
|                | 農業の新規参入者数(累積)                | -                  | -                  | 126人               | 120人               | 105.0% |
|                | 担い手への農地の利用集積率                | 91.5%              | 91.4%              | 91.4%              | 91.8%              | 99.6%  |
| 0609           | 農村ツーリズムの受入活動実践農家の割合          | 6.8%               | 6.8%               | 7.2%               | 7.0%               | 102.9% |
|                | 多面的機能支払の取組面積                 | 768千ha             | 776千ha             | 777千ha             | 768千ha             | 101.2% |
|                | ふれあいファームに登録している農家の割合         | 2.5%               | 2.5%               | 2.5%               | 2.8%               | 89.3%  |
| 0705 0706 0707 | 漁業生産額(漁業就業者1人当たり)            | 1,122万円            | 953万円              | 866万円              | 1,190万円            | 72.8%  |
| 0706           | 全道の沿岸漁業生産量に占める栽培漁業生産量の割合     | 70.3%              | 67.3%              | 70.4%              | 68.0%              | 103.5% |
|                | 耐震・耐津波化が図られ、BCPが策定されている漁港の割合 | -                  | 15.8%              | 26.3%              | 25.0%              | 105.2% |
| 0708           | 新規漁業就業者数                     | 171人               | 156人               | 144人               | 260人               | 55.4%  |
| 0709           | 道産木材の利用量                     | 463万m <sup>3</sup> | 446万m <sup>3</sup> | 425万m <sup>3</sup> | 458万m <sup>3</sup> | 92.8%  |
|                | 私有人工林面積における集積・集約化の面積割合       | 70%                | 71%                | -                  | 72%                | -      |
|                | 森林所有者が効率的な森林施業を行うための路網整備水準   | 63.1m/ha           | 63.5m/ha           | 63.7m/ha           | 63.7m/ha           | 100.0% |
| 0710           | 林業の新規参入者数                    | 161人               | 135人               | 158人               | 160人               | 98.8%  |
|                | 通年雇用者割合                      | 56%                | 67%                | 59%                | 57%                | 103.5% |

【施策評価の総合判定の平均点(参考)】



【補助指標の状況】

| 施策コード | 指標名   | 過年度①     | 過年度②     | 評価年度     | 評価年度目標値  | 達成率    |
|-------|-------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 0606  | 農業産出額 | 12,593億円 | 12,558億円 | 12,667億円 | 11,675億円 | 108.5% |

|             |       |               |              |           |      |
|-------------|-------|---------------|--------------|-----------|------|
| 分野<br>(大項目) | 経済・産業 | 政策の柱<br>(中項目) | 農林水産業の持続的な成長 | 政策<br>コード | 2(1) |
| 関係部局        | 農政部   |               | 水産林務部        |           |      |

【その他の統計数値など】

| 施策コード                 | 統計数値等   | 数値の推移や分析結果など                                     |                      |   |                                |                      |
|-----------------------|---|--|----------------------|---|--------------------------------|----------------------|
|                       |   | 過年度①   | 過年度②                 | 最新年度  | 分析等                            |                      |
| 0605                  | YES!clean作付面積(ha)                                     | 17,424   | 16,804               | 16,190(R3)                                      | 減少傾向                           |                      |
|                       | 農畜産物・農畜産加工品(日本酒含む)輸出額(億円)                             | 40   | 55                   | 48(R3)  | ながいも、ミルク・クリーム、米、豚肉で8割          |                      |
|                       | 道産食品独自認証制度の認証数  | 50   | 48                   | 37(R3)  | 減少傾向                           |                      |
| 0606                  | 耕地面積  | H27:1,147千ha ⇒R3:1,143千ha                        |                      |   | 横ばい                            |                      |
|                       | 農業産出額(国内シェア)  | H27:11,852億円(13.5%)<br>⇒ R2:12,667億円(14.1%)      |                      |   | H27⇒R2:6.9%増<br>R2)耕種:畜産=42:58 |                      |
|                       | 輸入依存作物の生産量全国シェア(令和2年)                                 | 小麦:66.4% 大豆:42.5%                                |                      |   |                                |                      |
|                       | GNSSガイダンスシステムの累計導入台数                                  | 11,530   | 14,050               | 18,350(R2)                                      | 大きく増加                          |                      |
| 0607                  | 水田整備率(1ha以上)  | 16.2   | 17.9                 | 19.2(R2)  | 増加傾向                           |                      |
|                       | 畑地・草地排水整備率  | 62.7   | 63.1                 | 63.3(R2)  | 増加傾向                           |                      |
| 0608                  | 販売農家戸数  | H27(全数調査結果):38,086<br>⇒R3(販売のあった経営体数の推計値):33,200 |                      |   | R12さう勢25千戸                     |                      |
|                       | 農業経営体数  | H27(全数調査結果)                                      |                      |   | 個人7,039減                       |                      |
|                       |   | R3(推計値)  |                      |   | 個人29,700 団体:4,500<br>団体525増    |                      |
|                       | 基幹的農業従事者数(R3)   | 49歳以下:30.0%、50~64歳:30.5%、<br>65歳以上:39.8%         |                      |   | 65歳以上H27⇒R3 4.7ポイント増           |                      |
| 農業法人数(農地所有適格法人数)      | 3,605   | 3,716  | 3,830(R3)            | 増加傾向  |                                |                      |
| 0706                  | 海域別漁業生産額(令和2年度)                                       | 日本海  | 435億円                | 947万円   | 沿岸海区<br>漁協組合員<br>一人当たり<br>生産額  | オホーツク海域は日本<br>海の約3倍  |
|                       |   | 太平洋  | 987億円                | 1,261万円   |                                |                      |
|                       |   | オホーツク  | 605億円                | 3,085万円   |                                |                      |
|                       | 全道の沿岸漁業生産量に占める栽培漁業生産量の割合の海域別割合(令和2年度)                 | 日本海  | 58.0%                | 日本海はH28の49.8%から<br>8.1%増、ニシン・ヒラメ<br>など栽培漁業の取組推進 |                                |                      |
|                       |   | 太平洋  | 47.7%                |   |                                |                      |
|                       |   | オホーツク  | 95.8%                |   |                                |                      |
| 減少及び増加が著しい回遊性魚種の漁獲量推移 | サンマ▼  | H28 53,239t ⇒R2 11,746t(63.4億円)                  | R2/H28 0.22          |   |                                |                      |
|                       | イカ▼   | H28 23,930t ⇒R2 7,211t(43.1億円)                   | R2/H28 0.30          |   |                                |                      |
|                       | イワシ△  | H28 74,064t ⇒R2 236,103t(73.9億円)                 | R2/H28 3.19          |   |                                |                      |
|                       | サバ△   | H28 10,215t ⇒R2 20,192t(7.8億円)                   | R2/H28 1.98          |   |                                |                      |
|                       | ブリ△   | H28 11,798t ⇒R2 15,457t(20.0億円)                  | R2/H28 1.31          |   |                                |                      |
| 0707                  | 海獣類による漁業被害額(百万円)                                      | 全道   | 1,185                | 734   | 954(R3)                        | 日本海での被害が<br>7~8割を占める |
|                       |   | 日本海  | 917                  | 516   | 802(R3)                        |                      |
|                       |   | その他  | 268                  | 218   | 152(R3)                        |                      |
| 0708                  | 漁業就業者数  | H20:33,568人⇒R2:23,420人                           |                      |   | 約10年間で1万人減少                    |                      |
| 0709                  | 林業産出額(億円)   | 477  | 468                  | 467(R1)   | 概ね横ばい                          |                      |
|                       | 木材需要量(万m <sup>3</sup> )                               | 787  | 745                  | 644(R2)   | コロナ影響等により減少                    |                      |
|                       | 育成単層林・育成複層林・天然生林別森林面積(ha)                             | 育成単層林  | R1:1,402 ⇒ R23:1,247 |   |                                | 森林の有する多面的機能の持続的な発揮   |
|                       |   | 育成複層林  | R1: 762 ⇒ R23: 953   |   |                                |                      |
|                       |   | 天然生林   | R1:3,372 ⇒ R23:3,336 |   |                                |                      |
|                       | 植林面積  | R1:9,889ha ⇒ R13:13,000ha                        |                      |   | ゼロカーボン北海道                      |                      |
| 林業事業体の生産性             | R1:9.1m <sup>3</sup> /人日 ⇒ R13:13.0m <sup>3</sup> /人日 |  |                      | スマート林業  |                                |                      |
| 製材・合板等の需要における道産木材の割合  | R1:69% ⇒ R13:75%                                      |  |                      | 道産木材の需要拡大                                       |                                |                      |
| 0710                  | 林業従事者数  | 4,272  | 4,253                | 4,269(R1)                                       | 概ね横ばい                          |                      |

【評価に当たっての論点】

|   |
|---|
| <p>■ 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際情勢や気候変動への対応、我が国の食料安定供給への一層の貢献<br/>⇒食品産業原料の国産化、輸入依存穀物の増産、農業産出額の更なる増</li> </ul> <p>■ 水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海域格差に留意した栽培漁業振興 ⇒日本海ニシン、えりも以西マツカワ等</li> <li>適切な資源管理⇒ホッケ、サンマ、スルメイカ、スケトウダラ等</li> <li>新たな回遊性魚種の需要拡大 ⇒マイワシ、サバ、ブリ等</li> </ul> <p>■ 林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼロカーボン北海道への貢献 ⇒2030年目標3,581万t-CO2うち24%</li> <li>公益的機能の発揮に配慮した森林づくり、林業・木材産業の経営力の向上</li> </ul> <p>【共通課題】 農山漁村の人口減少・高齢化の中での担い手育成・確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産等の目標達成に向け必要な就業者数の見通しを踏まえ、その数値を分析の上、新たな担い手及び効率化の両面の対策を着実に推進</li> </ul> |
|---|

|             |       |               |              |           |      |
|-------------|-------|---------------|--------------|-----------|------|
| 分野<br>(大項目) | 経済・産業 | 政策の柱<br>(中項目) | 農林水産業の持続的な成長 | 政策<br>コード | 2(1) |
| 関係部局        | 農政部   | 水産林務部         |              |           |      |

【政策目標の達成に向けた判定】

効果的な取組を検討

- ・ 順調に展開
  - ・ 概ね順調に展開
  - ・ 効果的な取組を検討
  - ・ 見直しや改善が必要
- いずれかの  
評価を付ける

【政策の柱に対する意見（今後に向けた意見）】

【取組の方向性】

■ 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり

○ 肥料価格高騰への対策や輸入依存作物の増産など国際情勢の影響に対する食料安全保障の強化や、気候変動などを踏まえた新たな品目の需要と取組産地の拡大などへの対応に加え、我が国最大の食料供給地域としての役割を果たすための安定生産や生産性の向上などの取組や、国内外の食市場を取り込む付加価値向上など、政策目標の実現に向けて着実に課題を解決する取組が必要である。

■ 水産物の安定供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり

○ 気候変動をはじめ、国際問題を含む社会経済情勢の大きな変化、主要魚種の生産低迷や漁業生産体制の脆弱化など、本道の水産業を取り巻く現況は厳しい状況にある中、食の安定供給や地域を支える水産業・漁村の振興に向けては、漁業生産量や生産額の海域格差に留意した栽培漁業の振興、水産資源の適切な管理、新たな回遊性魚種の需要拡大・高付加価値化、漁業経営の安定化など、課題解決につながる取組を更に進める必要がある。

■ 林業・木材産業の振興を図り、資源の循環利用を進める森林づくり

○ ゼロカーボン北海道実現に向けた2030年のCO2排出量削減への積極的な貢献といった重要な意義を有する林業・木材産業の振興という考えのもと、生物多様性の保全に資する森林の多面的機能の発揮に向けた取組やスマート林業による効率的な施業の推進、ブランド力の強化による道産木材の需要拡大など、森林資源の循環利用に向けた取組を一層推進する必要がある。

【共通課題】 農山漁村の人口減少・高齢化の中での担い手育成・確保対策

○ 人口減少・高齢化が一層進行する中、食料の安定供給や長期を見据えた森林づくりだけでなく、地方創生を推進する観点からも農林水産業の就業者を安定的に確保することは大変重要である。産業の維持継続に必要な就業者数も念頭に、新規就業者等確保や担い手の育成対策と生産の効率化の両面の対策を着実に進める必要がある。

【意見（政策の柱）】

◎ 「農林水産業の持続的な成長」は、構成する施策の成果指標による判定では「概ね順調」となっているが、国際情勢の影響に伴う食料安全保障の強化と食料安定供給への一層の貢献、気候変動などを踏まえた新たな農作物・魚種の需要拡大やゼロカーボン北海道実現といった農林水産業の役割や価値の高まりなど、政策の背景が大きく変化していることから、食や観光、環境など様々な機能や潜在力を活かした農林水産業の持続的な成長に向け、担い手の安定的な確保を通じた生産振興や森づくりをはじめ、地域の産業・雇用、地方創生の観点も踏まえた効果的な取組を検討する必要がある。